

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調査

3-2

3-2

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	遺跡の保存等に係る調査研究の推進
節			事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	2 佐渡金銀山遺跡等発掘調査		関連団体	県文化課
事業実施期間	H28～R6			
事業概要	【事業目的】 ○ 構成資産の価値をより高めるとともに、遺跡の保存や整備活用のための基礎資料とするため、佐渡金銀山遺跡に係る調査研究を推進する。 【事業内容】 ○ 構成資産や関連する遺跡等を対象として、長期的な視点に立った調査研究の計画策定、構成資産の価値をより深めるための研究を推進・継続する。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 調査計画に沿って、発掘調査等を継続して実施する。(定数的な目標値は設定しない。)			
これまでの取組実績	○ 佐渡金銀山遺跡の保存・活用に向けた各種整備事業や公共事業に際し、現地調査の必要性を検討するとともに、必要に応じて発掘調査を実施した。 ○ 金子勘三郎家主屋の保存修理工事に伴い、事前に発掘調査を実施した。			
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 史跡整備基本計画に基づき、発掘調査の基礎資料とするため、上相川地区の分布調査・地形測量を実施する。 【R6年度実績】 ● 上相川地区の分布調査及び詳細地形測量(2,000㎡)を実施した。			
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A・B・C] ◇ 本事業は、調査計画に基づき発掘調査を実施していくものであり、令和6年度末までの定数的な目標は設定していないが、概ね計画どおりに進められており、一定の成果が得られていることから、B評価とした。			
事業評価	■ 学術的な調査は、長期的な事業計画を定めた上で、他の事業との調整を図る必要がある。			

A: 予定を上回る進捗

B: 概ね予定どおり

C: 遅れている。